



山梨防災教育研究会 創設記念

# 山梨県防災・環境教育に関する シンポジウム

山梨県は、世界遺産である富士山を代表に豊かな自然環境を有する一方、県内の大半の地域が東海地震指定強化地域に指定されており、糸魚川静岡構造線をはじめとする内陸活断層、山岳地域が8割を占めるなど地震災害や土砂災害の危険性、さらに活火山である富士山を擁する等、自然災害と隣り合った環境にあります。

2011年東日本大震災以降、防災教育・啓発に関する取り組みは喫緊の課題として認識され、本県においても学校から社会人を対象に、各機関各部署がそれぞれの立場から防災教育・啓発に関する事業を行ってきました。しかしながら、「研修の多くが講師依存になっている」、「山梨の地域特性を反映していない」、「市町村の防災施策と整合が図られていない」、「育成した人材を活用する仕組みがない」、「学校の防災教育と社会人の防災啓発の間が不連続である」、「ノウハウ不足」等、多くの課題認識されるようになりました。

そこで、山梨大学地域防災・マネジメント研究センター（山梨大、山梨県、山梨県教育委員会）と国土交通省は、山梨県内で実施されている防災教育・啓発事業に関する情報を関係者で共有し、山梨県における体系的な防災教育のあり方と人材活用方策について調査・研究を行うため、「山梨防災教育研究会」を創設することとなりました。本シンポジウムでは、研究会創設を記念して文部科学省と国土交通省から講演依頼し、山梨県において今後どのように防災・環境教育を進めていくべきか、皆さんと一緒に考えます。

**日 時**：2014年11月27日（木）14：30～17：15  
**開催場所**：甲斐市双葉ふれあい文化館 ホール（甲斐市下今井230）  
**対 象**：市町村（防災、環境教育担当）、市町村教育委員会（防災、環境教育担当）  
小中学校及び高等学校、特別養護学校（防災教育担当）、一般県民

1. 挨拶

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター センター長・教授 鈴木 猛康

2. 招待講演

- 1) 文部科学省 スポーツ・青少年局 学校健康教育課 安全教育調査官 佐藤 浩樹  
学校防災の現状と課題
- 2) 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 課長補佐 田中 里佳  
河川からの防災・環境教育

3. パネルディスカッション

パネリスト

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課 安全教育調査官 佐藤 浩樹  
国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 課長補佐 田中 里佳  
山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 准教授 秦 康範  
山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 准教授 酒井 厚  
山梨県教育委員会富士・東部教育事務所 指導主事 杉本 賢二  
身延町立下部中学校 校長 橘田 清  
山梨県防災危機管理課 防災対策専門監 山下 憲美  
甲府河川国道事務所 所長 田中 克直  
川に学ぶ自然体験活動協議会 理事 平山 康弘

コーディネーター：山梨大学地域防災・マネジメント研究センター センター長・教授 鈴木 猛康

4. 閉会

甲府河川国道事務所 所長 田中 克直

【参加申込・お問い合わせ】

参加を希望される方は、事前に人数を把握したいので11月14日（金）までに、ご氏名、ご所属をご連絡ください。  
山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 担当：秦 Tel: 055(220)8533 Mail: yhada@yamanashi.ac.jp